

令和 6 年 6 月 24 日

**【広島大学 75+75 周年記念事業】理学部主催事業
映画「太陽の子」上映会及び
パネルディスカッションを開催します**

広島大学理学部は、「戦時の科学者が考えたこと、現代の人たちに知ってほしい過去」をテーマに、映画「太陽の子」（令和 3（2021）年 8 月公開）の上映会を開催いたします。

映画「太陽の子」は、原爆開発の研究をする理学部の若き研究者に焦点を当てたものであり、8 月 6 日を前に、科学と平和のつながりについて考えるきっかけになればと考え企画いたしました。

また、上映会のあとには、関係者によるパネルディスカッションも行います。みなさまのご参加をお待ちしています。

【日 時】令和 6（2024）年 8 月 3 日（土）13:00～16:15

13:00-15:15 上映会

15:15-16:15 パネルディスカッション

【会 場】東広島芸術文化ホール くらら 小ホール

【参加費】無料

【申込方法】下記 URL もしくは QR コードより必要事項を入力のうえお申し込みください。（定員：先着 220 人）

<https://forms.office.com/r/c9sDEfF2Y4>



【パネルディスカッション講演者】司会：黒岩 芳弘 理学部長

清水 勝 氏（兵庫県立大学名誉教授）

※京都大学名誉教授 清水 榮 氏の三男）

※ 清水榮氏は昭和 18（1943）年から京都大学で講師を務め、日本を代表する原子核物理学者である荒勝文策氏の研究室にて研究に従事。また、清水榮氏の書かれた日記がきっかけとなり、映画「太陽の子」が製作されました。

黒崎 博 氏（映画「太陽の子」監督・脚本）

浜野 高宏 氏（映画「太陽の子」プロデューサー）

◆映画「太陽の子」について（『映画 太陽の子』公式サイトより抜粋）

太平洋戦争末期に存在した「F 研究」と呼ばれる“日本の原爆開発”。その事実を基に、時代に翻弄されながら全力で駆け抜けた若者たちの、等身大の姿を描いた青春群像物語。監督・脚本は「青天を衝け」など多くの話題作を手がけ

る名手・黒崎博。彼が 10 年間大切に温め続けたこの企画に共鳴し、柳楽優弥、有村架純、三浦春馬、田中裕子、國村隼、伊ッセー尾形、山本晋也、そしてピーター・ストーメアが参加。

【お問い合わせ先】

広島大学 理学系支援室

TEL:082-424-7305

E-mail: ri-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp



広島大学創立 75+75周年記念

理学部主催事業

映画「太陽の子」上映とパネルディスカッション

～戦時の科学者が考えたこと、現代の人たちに知ってほしい過去～



“太平洋戦争末期に存在した「F研究」と呼ばれる“日本の原爆開発”。その事実を基に、時代に翻弄されながら全力で駆け抜けた若者たちの、等身大の姿を描いた青春群像物語。”

開催日時

2024年8月3日（土）13時～16時15分（開場：12時30分）

会場

東広島芸術文化ホール くらら 小ホール

入場料

無料（事前申込要） <https://forms.office.com/r/c9sDEfF2Y4>



講演者（予定）

清水 勝 氏（兵庫県立大学名誉教授）

※清水 榮 氏（京都大学名誉教授：1943年から講師（当時）として

荒勝 文策 氏の研究室にて研究に従事）の三男

黒崎 博 氏（映画「太陽の子」監督・脚本）

浜野 高宏 氏（映画「太陽の子」プロデューサー）

プログラム

13時～15時15分 映画上映

15時15分～16時15分 パネルディスカッション

【お問合せ】広島大学理学系支援室

082-424-7305

ri-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

